

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

健康長寿日本一を目指した、健康かわごえ推進プランの取り組み

運動

食

団地まるごと

事業概要

市民の健康寿命の延伸のため、平成27年3月に「ぴんぴんきらり」をスローガンとした「健康かわごえ推進プラン」を策定した。

本市が目指す「健康寿命日本一」となるまちづくりの実現、市民と協働した健康づくり活動を行うために、平成27年度から地区担当保健師活動が開始された。また、地域の健康づくりの核となり、地域と行政をつなぐ橋渡し役及び市民の健康応援団として保健推進員等を育成し、地区担当保健師と共に地域に根ざした活動を行っている。

事業内容

① 地区担当保健師の活動

地区担当保健師は地域の特性をとらえ、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の健康づくり活動を行っており、地域の健康講座などの様々な場面、身近な場所で健康情報の発信を行い、プランの周知を図っている。

② 関係団体・関係機関等との連携

- ・保健推進員は地区担当保健師のパートナーとして、健康づくりの核となって活動しており、保健推進員による草の根的な活動が市民の健康寿命延伸の一助になっている。
- ・各団体などが地域等で活動する際、プランに基づく事業の実施や啓発リーフレットなどを積極的に活用している。

③ ライフステージ別概要版の作成・配布

- ・乳幼児期から高齢期まで、7つのライフステージ別概要版を作成した。
- ・事業の参加者のライフステージに合わせて配布することで、市民が健康について意識するきっかけになりやすく、講話などの媒体としても有効的に活用できた。

事業効果

- ・地区担当保健師や保健推進員が地域で積極的に健康づくりの啓発を行うことで、今まで健康づくり情報が行き届かなかった層へ周知することができた。
- ・自治会や学校等と連携強化が図れ、健康づくりの推進に取組みやすい環境に変化してきた。

その他

- ・健康づくりを推進する上で共通の啓発媒体を作成し、専門職だけでなく、関係団体や関係機関等で活用できたことで広い層に周知することができた。
- ・健康寿命延伸の取組みとして欠かせないターゲット層である健康づくり無関心層に対する取組みとして、企業など幅広い層との連携が重要である。